

2020 年度実施概要

学校名

糸満市立糸満南小学校

採択活動名

海人科 ～海人が活躍した糸満の海を学ぼう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. いろいろなふね・実習船見学	1 年	国語
2. 海の宝物を探しに行こう(貝殻探し)	2 年	生活・図工
3. 市のようす・海人工房見学	3 年	社会・総合
4. ふるさとの食を伝えよう・海ぶどう見学	4 年	総合
5. 見直そう私たちの環境	5 年	総合・社会
6. 海のお仕事について知ろう・海の安全について考えよう	6 年	総合

取り組みの概要

1 「いろいろなふね・実習船見学」

国語の単元「いろいろなふね」で勉強した。その発展学習として図書館で他のいろいろな乗り物について調べた。最後の発展学習として市内の沖縄水産高等学校の実習船を見学し、5感で触れるような体験を行った。

2 「海の宝物を探しに行こう」

糸満の海について海洋主任がオリエンテーションとして初めに授業を行った。糸満の海について興味を持たせ、その中から身近にあるビーチに焦点化をあてた。実際にビーチに行き貝殻を拾った。貝殻を使い写真立てや宝箱を作成した。

3 「市のようす・海人工房見学」

社会の単元「市のようす」から糸満市の今と昔の違いを学習した。衣・食・住の視点から調べ、実際に昔の道具が展示されている海人工房さんに伺った。昔の道具を見学したり、触れる体験も行った。館長さんから講和を聞くことができた。特に「海人」について講和をしてもらい、道具の使い方や実際にサバニにも乗ることができた。

4 「『ふるさとの食を伝えよう』・海ぶどう見学」

国語の単元「ふるさとの食を伝えよう」からふるさとの食について学習した。その発展学習として糸満の食について調べた。実際に小学校の近くにある海ブドウ工場に行き、工場見学に行ってきた。実際に触れたり、食することで普段食べている物がどういった経緯で作られているか知ることができた。

5 「見直そう私達の環境」

糸満の海について海洋主任がオリエンテーションとして初めに授業を行った。糸満の海について興味を持たせた。また社会「水産業のさかんな地域」から海洋のゴミ問題を取り上げ、その発展として GODAC さに協力してもらいズームでオンライン授業を行った。テーマは「海洋プラスチック問題」について講和してもらった。そこで勉強したことを生かし、身近にある「潮崎海岸」に行きビーチクリーン体験を行っ

た。集めたゴミを分別し、算数で学習した割合を用い円グラフにまとめた。そのグラフを新聞に使い掲載した。

6 「海のお仕事について知ろう・海の安全について考えよう」

6年生は総合学習で糸満市の魅力について学習していた。その一環としてキャリア学習の視点から市内のマリン事業で活躍されている方をお呼びし、講和をしていただいた。仕事のやりがいやこの事業を始めたきっかけについて話してもらった。また環境の面にも尽力されており、那覇空港のサンゴ移植の件についても話してもらった。ただ海を使って仕事するだけでなく、海を持続可能に継続できるよう工夫をしていることも分かった。

1 「いろいろなふね・実習船見学」



実習船を見学した様子です。今年の2月に搬入したばかりです。設備が新しくなっていました。電子機器もタッチパネルになっている物が多かったです。船の舵が車のハンドルと同じ形になっていました。

2 「宝物を探しに行こう」



学校の近くの潮崎海岸に貝殻を拾いに行きました。いっぱい取ることができました。



拾った貝殻を教室に持っていき、図工の作品に仕上げました。

3 「市のようす・海人工房見学」



市内の海人工房に見学に行きました。昔の海人の道具に触れたり、使い方の話を聞いたりしました。昔の家も見学しました。お金持ちの家と貧乏の家のお家の見学をし、二つの家の違いを聞くことができました。

4 「『ふるさとの食を伝えよう』・海ぶどう見学」





市内の近くの海ぶどう工場に見学に行きました。実際に海ブドウに触れたり、食することができました。

5 「見直そう私たちの環境」



オンライン授業を行いました。GODAC さんの協力の下、「海洋マイクロプラスチック問題」について学習しました。世界的な問題だけでなく、沖縄の現状についても知ることができました。



GODAC さんの学習で学んだことを生かし、近くの潮崎海岸でビーチクリーン体験をしました。海外のゴミがありました。



6 「海のお仕事について知ろう・海の安全について考えよう」



キャリア教育を行いました。仕事のやりがいや自分達が住んでいる地域の海の魅力について話してもらえました。心肺蘇生法のやり方も教えてもらいました。

津波について講和をしてもらいました。自校は海拔 4 m に属しており、いつ・何が起きるかが分かりません。海の脅威についても学ぶことができました。